

2016.6.19 発行 地域産業支援委員会 委員長 末松正典

1. 日時 : 2016/6/11 (土) 10:00~11:45

2. 場所 : 九州本部 会議室

3. 出欠 (敬称略) : 赤石、味澤、大里、小出、古賀、末松、田口、西尾
【出席者、欠席者】 久富、松永、松原、森川、八百屋 山田、吉田
[オブザーバー出席 : 長野副本部長]
(欠席委員4名(小出、久富、森川、山田)からは決議一任を頂いています)

4. 議題

- 1) 出席新委員(2名)の自己紹介
- 2) 各グループのH28年度活動計画について :
- 3) H28年度第一四半期の活動報告 :
- 4) その他

5. 配布資料類

資料①-1 : H28年度計画と組織体制

資料①-2 : H28年度活動計画 (九州本部提出予定資料)

資料①-3 : H28年度活動経過

資料②-1 : 九州本部地域産業支援委員会H28年度実行計画の内、『第2グループ(G)活動テーマ「九州本部・技術相談運用の活性化」』としての活動計画(案)

資料③-1 : 九州知財交流会(3)参加報告

資料③-2 : 二月会参加報告(2016.4.11)

6. 議題に対する結果 (決定事項など) :

6. 1 新委員の自己紹介 :

- ・3名の新委員のうち、今回出席者2名の委員(田口委員、松永委員)に自己紹介いただいた。
- ・田口委員(機械部門)はTOTO出身、松永委員(金属部門、機械部門)は日立金属出身。

6. 2 各グループのH28年度活動計画について :

- ・資料①-1、①-2、①-3で説明。異論なく、今年度は本計画に沿って活動することとした。

6. 3 H28年度第一四半期の活動報告 :

1) 第1グループ : 【文責 : 吉田、末松】

- ・第1グループとしての活動は特になく、報告なし。

2) 第2グループ(H28年度通期での活動として) : 【文責 : 味澤】

- ・「資料②-1」に則り説明。この内、「2. 企業内技術士の——参画のあり方」については、H27年度第4回会議で提示し「H28年度第1回会議で諮りたい」としていたが、特に時期については拘らない。第2・3回会議にでも諮って頂けたらと考えている。

【補足】本件について、「守秘義務」「秘密保持」等々、企業内技術士の支援対応の在り方等についての議論がなされた。次回以降、本件について更なる議論が進む事を期待したい。

3) 第3グループ；【文責：古賀】

(1) 第3回九州知財交流会（平成28年3月28日）に参加した味澤委員より下記の報告が行われた。

- ・場所は福岡合同庁舎本館（九産交流プラザ）で、参加者は25名
- ・交流会では独立行政法人工業所有権情報・研修館の小原莊平氏による講演「オープン&クローズ戦略における秘匿とは」があり、その後懇親会が行われた。

(2) 第130回ベンチャープラザ二月会（平成28年4月11日）に参加した味澤委員より下記の報告が行われた。

- ・場所は福岡天神センタービル8階
- ・(株)安川電機の筒井幸雄氏より講演「安川電機のIndustrie4.0への取組み」が行われた。
- ・次に下記の4氏からプランの発表が行われた。
 - ① 木村情報技術(株)：木村幸雄「インターネット多地点高画質ライブ配信サービス」
 - ② ドレミングアジア(株)：桑原広充「途上国の働く人を支援するHPシステムと決済サービスの開発」
 - ③ (株)スカイディング：橋本司「IOTサービスをより簡単に実現するGINGABOXとGIBNGACLOUD」
 - ④ (株)Laf1a：宥免達徳「IOT時代に向けての動線分析プラットフォームGeoSTRATOS」
- ・その後交流会が行われた。

4) 第4グループ（H28年度通期での活動として）：【文責：赤石、味澤代筆】

- ・「技術士会会員の支援実施例集」への新規実績の追記、及びその利活用方法の検討（「第2G」と連携）。
- ・「産総研九州・沖縄産業技術オープンデー」出展対応。

5) 第5グループ：【文責：末松】

・統括本部の機械部会主催のWeb中継受講を継続。5/13(金)参加者6名（うち1名は体調不良により欠席）。演題は2つ；「強風による列車脱線事故考察」「倫理事例として考える技術士(原子力・放射線部門)の10年」。

前者は山陰線余部鉄橋事故をはじめとする強風による列車脱線や横転などの事故分析、後者は東日本大震災時の原子力発電所事故における技術士会原子力・放射線部門の対応評価など。

・吉田委員が技術指導例として次の4件の内容を紹介。

- ① 産総研経由K社からの食品内異物除去の技術相談の応じた具体的活動（2015.12.2～2016.3月）。
統括本部の情報網を利用して見出したY技術士を企業に紹介したが、諸般の事情で交渉不成立。
その後、吉田委員が所属する会でTRIZ手法などを用いて分析評価した（本結果は企業には未伝達）。
- ② S社（北九州市エコタウン内、資本金8100万円）から炭化装置開発での技術相談。
- ③ M税理士からの建築リニューアルに関する技術相談（2015.9.28付け）：
⇒技術士は建築部門なし。したがって、建築士への打診が適切と回答。
- ④ K技術士からの地熱発電設備の設計施工に関する技術相談（2015.12.10付け）：

6.4 その他：

- ・次回例会開催日時：2016年9月3日（土）10：00～12：00（九州本部会議室にて）
技術指導事例紹介は田口委員が行うことで了解が得られた。

以上